

山口大学 大学研究推進機構 先進科学・イノベーション研究センター
中高温微生物研究センター（大学院創成科学研究科農学系学域生物機能科学分野）
教員の公募について

1. 公募の内容

- | | |
|----------|--|
| (1) 職 名 | 助教 |
| (2) 人 数 | 1 名 |
| (3) 所 属 | 大学研究推進機構 先進科学・イノベーション研究センター
中高温微生物研究センター |
| (4) 専門分野 | 微生物機能利用学分野 |
| (5) 職務内容 | ・微生物による発酵やバイオマス変換を利用した有用物質生産に関する基礎研究及び応用研究
・農学部生物機能科学科の学生実験，演習，卒業論文指導，及び大学院創成科学研究科農学系専攻学生の修士論文指導等の担当
・共通教育科目の教育業務
・各種委員会委員，及び，その他の業務等 |
| (6) 任 期 | 5 年（審査により 1 回再任可） |
| (7) 待 遇 | 給与等雇用条件は，本学の規定による年俸制を適用 |

2. 応募要件（全ての要件を満たすこと）

- ①博士の学位を取得（着任後 1 年以内に取得見込みを含む）していること。
- ②学術論文が 2 編以上あり，内 2 編以上は筆頭著者であること。
- ③採用時の年齢が 40 歳未満（※）の若手研究者であること。
- ④微生物による発酵技術やバイオマス変換技術を用いて，中高温微生物研究センターの発酵微生物部門，環境微生物部門，病原微生物部門のいずれかの部門と協力して共同研究を促進できる方。なお，令和 4 年度に新設された共通基盤研究・開発部門に所属していただきます。
- ⑤農学部生物機能科学科及び大学院創成科学研究科農学系専攻の教育研究にも協力できる方。

* 当センターについては，ホームページを参照してください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yurctmr/>

※ 国の施策である「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」において掲げられている目標値の達成のため，労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律施行規則第 1 条の 3 第 1 項第 3 号ニに該当するものとして実施します。

3. 採用予定日

令和5年7月1日（土）以降できるだけ早い時期（応相談）

4. 応募の期限

令和5年3月31日（金）17時【日本標準時間】必着

5. 提出書類

（1）履歴書

（写真を添付し、連絡先（住所、電話番号、E-mail アドレス）、学歴、職歴を明記のこと。様式は問わないが、JREC-IN 様式を推奨する）

（2）研究業績

（著書、査読付きの学術論文、その他（査読のない学術論文、総説、紀要、プロシーディングスなど）、学会発表、特許、所属学会、外部研究費獲得実績、各種受賞実績に分けて記載すること。また、学術論文については、可能な限りリンク付き DOI を記載すること。様式は問わないが、参考までに、下記 URL に業績目録の見本を掲載する。

教員・研究員公募（農学部の欄をご覧ください）

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/company/recruitment-teachers/index.html>

（3）主要論文（筆頭著者論文2編以上を含む5編以内）

（4）現在までの研究の概要について（1,000字程度）

（5）今後の抱負について（1,000字程度）

（6）応募者について照会できる方2名の氏名、所属と連絡先（電話番号、E-mail アドレス）。又は、推薦者がある場合には推薦書

6. 選考方法

書類選考のうえ、面接（対面又はオンライン）を実施します。

選考により選出された候補者には、本学においてセミナーを行っていただきます。

なお、審査等にかかる旅費は、自己負担となります。

7. 応募書類の提出先及び提出方法並びに照会先

（1）応募書類の提出先、提出方法

提出書類を全て PDF 形式の添付ファイルとし、件名に「微生物機能利用学分野助教応募」と記載し、E-mail で下記アドレスに送付してください。E-mail で書類提出後、3日以内（土日祝日を除く）に受領確認メールが届かない場合には、お問い合わせください。

山口大学農学部総務企画係

TEL (083) 933-5805

E-mail ag293@yamaguchi-u.ac.jp

(添付ファイルは、10MB 以内にまとめて圧縮し、パスワード保護してください。容量が大きい場合は、件名の末尾に (1 / 2) 等をつけ、複数回に分けて提出してください)

(2) 照会先

山口大学 大学研究推進機構 中高温微生物研究センター長

阿座上 弘行

TEL (083) 933-5854

E-mail azakami@yamaguchi-u.ac.jp

8. その他

- (1) 初年度において、研究の立ち上げに必要なスタートアップ資金として 200 万円を教育研究費に加えて配分します。
- (2) 応募に係る個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。
- (3) 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第 8 条の規定により、研究者の女性割合を積極的改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
- (4) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ